

療養状況報告書の提出において御確認いただきたい点について

3か月ごとに御報告いただく療養状況報告書は、快復状況の変遷が見えることが重要となります。

様式第1号（第6条関係）

記入例

第 年 月 日

岡山県教育委員会 殿

所属長職氏名 **県立内山下高等学校長 津山 一郎** 印

療 養 状 況 報 告 書

このことについて、次により報告します。

対象者	所属名	岡山県立内山下高等学校		
	職氏名	教諭 岡山 花子	性別	女
	生年月日	昭和40年 11月 5日 (50歳)		
現在の本人の状況 (情報を得た手段を選んで○をつけてください。)	<p>1 本人と(面談・電話)(12月1日)、2 家族と(面談・電話)(月 日)、3 その他()</p> <p>・睡眠について 1日の平均睡眠時間 (5 時間) 睡眠時間帯 (1時～ 6時頃)</p> <p>・食事について 食事の回数(3 回) 内訳(朝・ 昼・ 夜) 該当に○</p> <p>・日常生活について(生活リズムは乱れていないか、日中の過ごし方等) 最近は少し眠れるようになってきたが、外出はまだできていないとのことである。調子のいいときは家事をすることもあるが、疲れやすく、できないときもある。ご主人は、洗濯などは分担するが、食事は作れないため、家事が出来ないときの食事は長女が作っている。今はまだ、職場のことを考えると不安になるとのことである。</p>			
主治医の意見 (主治医との接触手段を選んで○をつけてください。)	<p>1 面談(12月3日)、2 電話(月 日)、3 その他()</p> <p>しっかり栄養と睡眠を摂ることを指示し、わずがずつ改善しているが、不安感や意欲の低下がまだあり、状態は安定していない。</p> <p>・復職に向けての見通しについて しばらくは、職場のことを考えず、ゆっくり療養することが必要である。不眠、食欲不振などが改善されれば、徐々に復職のことも考えられるようになるかもしれないので、時期を見て相談する必要がある。</p> <p>・服薬と休養以外に必要なことがあれば 生活リズムを整えて生活すること。1日のうち決まった時間は本を読むなども決めてみる。</p>			
所属長の意見 (復職の見通し等)	<p>※本人及び主治医からの聞き取り内容を踏まえて、今後の復職に向けての意見を記入してください。</p> <p>病気休養に入った頃に比べれば、やや声も明るくなったように思うが、まだ元気な頃のような気持は感じられない。今は、学校や生徒のことは忘れてゆっくり休養してほしい。復職の時期については、今後の経過を見て、本人・主治医と相談していきたい。</p>			

●快復の進展がない場合は休養中の過ごし方についての助言を、快復している状況がうかがえれば復職プログラムのタイミングや内容等についての助言をメンタルヘルス部会からお伝えします。

●復帰のタイミングが早すぎる、本人にとっては業務の負担が大きすぎる、などの原因で再休職になってしまうことをできるだけ少なくすることを目標にして、メンタルヘルス部会での支援が効果的に機能するよう御協力をお願いします。